

## 透析膜による糖尿病透析患者の血糖変動

### - 皮下連続式グルコース測定 (CGM) による評価

長崎腎病院

○吉野秀章 林田政俊 岩永正人 矢野利幸 高木伴幸 李嘉明 橋口純一郎  
原田孝司 船越哲

#### 【背景】

現在の高性能透析膜にてブドウ糖のみならず分子量 5800 のインスリンは除去され、透析中に患者の血糖は変動する。血糖コントロールのみの観点からは、高性能膜は好ましくないという報告もある。

#### 【目的】

糖尿病透析患者における血糖変動が透析膜によって異なるかを CGM (Continuous Glucose Monitoring 皮下連続式グルコース測定) にて測定する。

#### 【対象および方法】

当院透析患者 5 例について、透析日・非透析日の血糖変動を、同一患者で PS と EVAL で異なるかを CGM で検討した。

#### 【結果】

2 つの膜で HbA1c の差はなかった。血糖 profile では、PS 膜で血糖変動が大きい傾向にあったが、有意差はなかった。

#### 【考察】

糖尿病透析患者では高性能膜で血糖変動が大きい可能性はあるが、血糖 profile の結果のみで透析膜選定をすべきでなく、まずは各々の膜特性に応じたインスリンコントロールが必要であると示唆された。